



### 予防接種による感染症対策について

政進会 葉梨 之紀

問 予防接種には個人を守り、集団や社会を守るという二つの役割があります。予防接種を受けるとその病気に対する免疫がつけられて抵抗力が付き、その人の感染症の発症や重症化を予防することができます。

また予防接種を受けることで多くの人が免疫を獲得していると、集団の中に感染者が出ても流行を阻止できる集団免疫効果が発揮されます。さらに、ワクチンを接種できない人を守ることもつながります。

以前にワクチンの接種をやめるような質問がありました。が、ワクチン接種についての市長の考えを伺います。

答(市長)：予防接種には法律に基づいて市区町村が主体となって実施する定期接種と、希望者が各自で受ける任意接種がありますが、最終的には個人の判断で接種するものです。本市では乳幼児から高齢者まで多くの予防接種を実施しており、ワクチンの種類も年々増加しています。

ワクチンとは感染症の原因となる病原体に対する免疫ができるという体の仕組みを利用して、病気に対する免疫をつけたり強くしたりするために接種する物質であると認識しています。そのため接種による一時的な副反応も見られますが、実際に病気にかかるリスクに比べると軽く、重度の副反応は極めてまれです。予防接種による副反応をゼロにすることはできませんが、予防接種には感染症から個人を守る、そして社会を守るという重要な目的とメリットがあります。そのためワクチンの安全性や有効性に関する正しい情報を周知するとともに、引き続き海老名市医師会をはじめ関係団体や医療機関と協力し、安心して予防接種ができる環境の整備に努めてまいります。



### 放課後等デイサービスについて

公明党 星 伸一

問 放課後等デイサービスの概要、市内の状況について伺います。

答(保健福祉部次長)：放課後等デイサービスは、学校の授業終了後、または休校日に生活能力向上のための訓練、社会との交流促進などの支援を行う事業です。就学中の原則18歳までの利用が可能で、障害者手帳を所持しているか、神奈川県指定難病の診断を受けている児童が対象ですが、医師の診断などにより療育が必要と認められた場合も利用が可能です。放課後等デイサービス事業所は現在18カ所市内にありまして、今年1月の支給決定児童数670名に対し、実際の利用者数は545名でした。

問 市内の事業所の運営指導などは県の管轄ですが、海老名市としての運営実態の把握や調査について認識をお伺いします。

答(保健福祉部次長)：公設のわかば学園についての県の運営指導は把握してありますが、民間事業所については情報共有ができていない状況です。障がい児通所支援事業所連絡会などで運営指導による指摘事項に関する報告を促すことにより、事業所運営の適正化、サービスの質向上を図ってまいりたいと考えております。

問 海老名市として放課後等デイサービスの役割に対する市の認識について伺います。

答(保健福祉部次長)：国が見直した放課後等デイサービスガイドラインにもあるように、児童から成人へと向かう人格形成の時期であり、子どもが安心して自分らしく過ごせる療育の場であると認識しております。



### 沿線の発展が続く相模線について

政進会 森下 賢人

問 J R相模線海老名駅の利用者が増え続けていますが、この状況に対する市の対応について伺います。

答(市長)：J R東日本に海老名駅ホーム上の混雑対策を要望しています。私自身も直接同社の横浜支社長に現状を伝えたところ、J Rも重要な課題と認識しており対策の実現に向け市も協力してほしいとの要請がありましたので、同社が行う混雑対策に対して市も積極的に促進を図ることを、今年2月に庁内の会議で意思決定しました。

問 市の財政負担という点について見解を伺います。

答(都市建設担当理事)：同社が事業を実施するまでには何段階もの設計や判断に時間を要すると考えていますが、その中で市の財政負担の話が出れば事業の公共性、公益性、市民の安全確保の点などを踏まえて市としても判断することになると思います。その際には適切なタイミングで議会に諮りながら、早期に事業促進が図られるように同社と協議を進めていきたいと考えています。

問 門沢橋駅も利用者が増えており、電車を降りた方々が通り過ぎないとホームに入りたいた人が進めない状態です。この改善を求めてほしいと思いますがいかがですか。

答(都市建設担当理事)：門沢橋駅の現状については議員の発言を含め、同社に働き掛けていきたいと思えます。

#### その他の質問

・次期海老名市社会教育計画について

